

分を伸ばし天職を見つけることのできる環境づくりが仕事だと思っています。芦屋大学に来てよかったと言ってもらえるように」

◇…この人を語るキーワードがある。愛する「沖縄」と「母」、そして「バスケットボール」「読書」である。「沖縄出身であることで差別を受けたことが何度もありました。しかし、反発で相手に矛先を向けるのではなく、反面教師として捉え、自分が教師になつたら絶対に差別は許さないという前向きなエネルギーに変えていきました。逆境に遭って逆によかったと思っています」

「母」は生きる原動力。沖縄生まれということで嫌な思いをたくさんし、貧困にあつても明るさを失わず、働きながら五人の子どもをたくましく育てあげた母を見て育つた。「母の血がぼくの体にしつかりと流れていることを、この頃は実感します。しみじみと有難いという思いです」

◇…「バスケットボール」は、中



学校から大学まで現役選手、高校の教員時代は部活動の顧問として歩んだ。「負けて勉強といいますが、生徒は勝つことで学ぶことも大きい」「指導者は、ひとりよがりになりがちです。謙虚になることで一人前に成長できるのです」「生徒との間に信頼関係がなくては、本当の勝利に導くことができない」など、尽きない。「わたしたちは教師である前に人間。スポーツを通じて人間関係を学ばせていただきました」

◇…読書家で知られる。「挫折しそうになると、指針となる本と出逢い、これまで何度も救われました。『人間の条件』『アラスカ物語』『宮本武蔵』『沈まぬ太陽』等。宮本武蔵の『我以外皆我師』は座右の銘にしている。「多くの師と出逢い、生徒にも教えられました」「読書は人間力を高める財産になりますから学生にも勧めています」。生涯一教師がふさわしい人です。

(聞き手・宮坂政宏)



「沖縄、母、バスケットボール、読書」 生涯一教師として歩む

芦屋大学学長 比嘉 悟さん



【略歴】比嘉 悟（ひが・さとる）一九五〇年生まれ。七三年日本体育大学卒業（体育学士）、大阪府立羽曳野高等学校保健体育科教諭に採用。九九年大阪府教委保健体育課主任指導主事、府立吹田東高等学校教頭、二〇〇三年府教委保健体育課首席指導主事、〇四年保健体育課参事兼高校総体事業推進室長、高校教育課参事を経て、〇七年府立北千里高等学校長。退職後の一〇年芦屋大学教授兼芦屋学園スポーツ教育センター長。二年芦屋大学副学長、今年十月三日付で、学長に就任。

◇…「六十四歳になりましたが、人生は六十過ぎが楽しいといいますが、わたしの人生はそのとおりで、今が最高のとき。七十年代になればもっと見えてくるらしいですね」

十月三日、教授・副学長から大学運営の責任者に就任し、忙しさが増したが、これからは授業をもち、子どもと距離の近い教師として歩んでいきたい、と語ります。

「二十二歳で大阪府立高校の教師になつてから四十年。生徒が人間力を身につけるよう支援に努めてきました。大学でも、学生が自

分を伸ばし天職を見つけることのできる環境づくりが仕事だと思っています。芦屋大学に来てよかったと言ってもらえるように」

◇…この人を語るキーワードがある。愛する「沖縄」と「母」、そして「バスケットボール」「読書」である。「沖縄出身であることで差別を受けたことが何度もありました。しかし、反発で相手に矛先を向けるのではなく、反面教師として捉え、自分が教師になったら絶対に差別は許さないという前向きなエネルギーに変えていきました。逆境に遭って逆によかったと思っています」

「母」は生きる原島 沖縄生まれということ嫌な思いをたくさんし、貧困にあっても明るさを失わず、働きながら五人の子どもをたくましく育てあげた母を見て育った。「母の血がぼくの体にしつかりと流れていることを、この頃は実感します。しみじみと有難いという思いです」

◇…「バスケットボール」は、中



学校から大学まで現役選手、高校の教員時代は部活動の顧問として歩んだ。「負けて勉強といいますが、生徒は勝つことで学ぶことも大きい」「指導者は、ひとりよがりになりがちです。謙虚になることで一人前に成長できるのです」「生徒との間に信頼関係がなくては、本当の勝利に導くことができない」など、尽きない。「わたしたちは教師である前に人間。スポーツを通じて人間関係を学ばせていただきました」

◇…読書家で知られる。「挫折しそうになると、指針となる本と出逢い、これまで何度も救われました。『人間の条件』『アスカ物語』『宮本武蔵』『沈まぬ太陽』等。宮本武蔵の『我以外皆我師』は座右の銘にしている。「多くの師と出逢い、生徒にも教えられました」「読書は人間力を高める財産になりますから学生にも勧めています。『生涯一教師』がふさわしい人です。」

(聞き手・宮坂政宏)



「沖縄、母、バスケットボール、読書」 生涯一教師として歩む

芦屋大学学長 比嘉 悟さん



【略歴】比嘉悟（ひが・さとる）一九五〇年生まれ。七三年日本体育大学卒業（体育学士）、大阪府立羽曳野高等学校保健体育科教諭に採用。九九年大阪府教委保健体育課主任指導主事、府立吹田東高等学校教頭、二〇〇三年府教委保健体育課首席指導主事、〇四年保健体育課参事兼高校総体事業推進室長、高校教育課参事を経て、〇七年府立北千里高等学校長。退職後の一〇年芦屋大学教授兼芦屋学園スポーツ教育センター長、二年芦屋大学副学長、今年十月三日付で、学長に就任。

◇…「六十四歳になりましたが、人生は六十過ぎが楽しいといいますが、わたしの人生はそのとおりで、今が最高のとき。七十年代になればもっと見えてくるらしいですね」

十月三日、教授・副学長から大学運営の責任者に就任し、忙しさが増したが、これからは授業をもち、子どもと距離の近い教師として歩んでいきたい、と語ります。

「二十二歳で大阪府立高校の教師になってから四十年。生徒が人間力を身につけるよう支援に努めてきました。大学でも、学生が自